

ProfiShark 1G

Gビットイーサネット対応 アグリゲーションTAP

全二重ワイヤースピードでギガビットLANを計測

キャプチャロスを防ぐ
USB3.0転送

10/100BASE-TX、1000BASE-Tの全二重データをキャプチャして、USB3.0転送でパソコンにデータ出力するアグリゲーションTAPです。Wiresharkなどのネットワーク解析ソフトでデータの解析を行うことができます。また、付属ソフトによりエラーフレームまで含めたフレーム長毎の集計表示やグラフ化などの統計解析も可能です。手のひらサイズの小型筐体はUSBバスパワーで駆動、パソコンに接続してすぐに計測を始められます。現場での調査や長時間にわたるデータロギングに最適です。

● 主な特徴

- ・2ポートの10M/100M/1G イーサネットモニター(USB 3.0転送)
- ・本体電源ダウン時にリンクをすぐに復旧させるフェイルセーフ機能
- ・USB 3.0/バスパワー駆動
- ・A, Bポートからの受信データを本体側で時系列にアグリゲート(合流)
- ・8ns分解能の高精度タイムスタンプ
- ・Wiresharkなどのネットワーク解析ソフトによるリアルタイム表示
- ・パソコンのSSD/HDDにダイレクトに保存可能

● あらゆるフレームをキャプチャ可能

- ・VLAN, VXLAN, MPLSタグ付きフレーム、ポーズフレーム
- ・カプセル化されたフレーム
- ・CRCエラーのフレーム
- ・フレーム長は10バイトから10Kバイトまで対応

● キャプチャしたフレームをSSD/HDDにダイレクト保存

製品付属ソフトを使うことで、本体でキャプチャしたフレームをパソコンのSSD/HDDにダイレクトに保存が可能です。WiresharkなどでNICポートからキャプチャ処理する場合に比べて、パソコンの処理の遅れによるキャプチャロスの発生が大幅に軽減されます。(*)

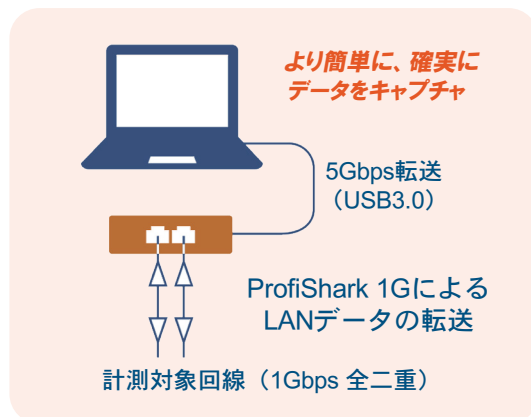
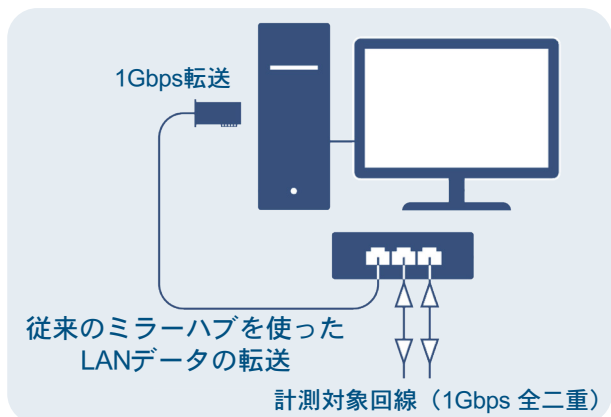
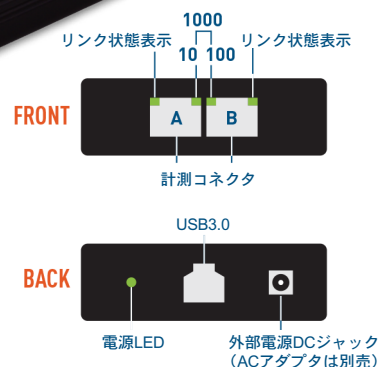
※: Gビットの全二重ワイヤースピードの通信データをロスなしでキャプチャできることを確認しました。
(Intel Core i5, RAM 8GB, SSD搭載のパソコンを使用)

● エラーフレームにも対応した統計解析機能

製品付属ソフトでは、通常のフレームに加え、CRCエラーのフレームにも対応した統計解析が可能です。通信トラフィックの逼迫状態をリアルタイムで確認したり、長時間にわたって統計を取ることで、通信量の変化やエラーフレームの発生頻度を確認できます。



各部の説明



計測用ポート	10Base-T/100Base-TX/1000Base-T x2ポート Auto MDI/MDI-X対応
PC接続用ポート	USB3.0 Superスピード USBポートBコネクタ
時間測定	本体でフレーム毎に時刻をタイムスタンプデータとして付加(8n秒単位)※1
キャプチャ機能	ポートAとBが内部でスルー接続され、スルーされた経路から分岐されたイーサネット通信のフレームをUSB経由で取り込み、パソコンに記録、データはWiresharkで解析可能※2
統計解析機能	通信フレーム数のカウンタ表示、グラフ表示、通信帯域のメーター表示※1
周囲温湿度	動作温度:0~50℃ 保存温度: -40~80℃ 湿度:10~95%RH(結露なし)
本体外形寸法・質量	69(W)×124(D)×24(H) mm 約180g
適合規格	RoHS, CE, FCC class A
動作環境	USB3.0ポートのあるPC/AT互換機、Dual core processor、メモリ1GB以上 OS: Windows® 7/8, Linux
標準構成品	本体、RJ45ケーブル、USB3.0ケーブル(1.8m)、ポーチ、USBメモリー(ドライバ、ソフトウェア、英文マニュアル)

※1: 付属ソフト使用時。

※2: Wiresharkに関するサポートはお受けできませんのでご了承ください。

株式会社 ラインアイ

本社・営業部 〒601-8468 京都市南区唐橋西平垣町39-1 丸福ビル4F
TEL.075-693-0161 FAX.075-693-0163

●URL <http://www.lineeye.co.jp>
●E-mail : info@lineeye.co.jp